01 商品と同梱物

この商品の役割

Windows版MT4で相場の方向・変動帯・反転の参考情報を表示する分析用インジケーターセットです。売買注文、自動ロット計算、自動SL・TP設定は行いません。

同梱ファイル（基本セット7本）

ファイル	役割
karrows6.ex4	方向矢印。KMACD2とKoma_NagiRSIを自動参照。
keltnerKN3c_004.ex4	トレンド・変動帯。既定の計算時間足はM30。
Koma_NagiRSI.ex4	Laguerre RSIのMTF改良版。時間足別の状態確認。
KstarV4.ex4	TMA系の参考星印。過去表示が変わり得る。
KMACD2.ex4	karrows6が参照するFisher系補助。
kZigZag.ex4 / KZigZag02.ex4	波形の参考表示。頂点は更新され得る。

表示名は「コマ式2026 基本セット」です。互換性のため、内部の商品コードishizueと上記ファイル名は維持しています。補助ファイルを改名・削除しないでください。

02 導入と口座認証

1. インジケーターを配置する

利用するMT4で「ファイル → データフォルダを開く」を選びます。ZIP内のMQL4/IndicatorsにあるEX4を、開いたフォルダーのMQL4/Indicatorsへコピーしてください。同名の既存ファイルと設定は、先に別フォルダーへ退避してください。

基本セットは7本、SMC統合セットは8本です。EX4はIndicators直下に置き、ナビゲーターで更新するかMT4を再起動します。購入者用ZIPにはソースや秘密鍵を含めていません。KomaAuth.mqhのコピーやWebRequestの登録は不要です。

2. 口座専用キーを設定する

登録した口座番号のKOMA2-で始まるキーを使います。別口座、別商品、期限切れ、署名不正のキーは認証されません。認証はWindowsのCryptoAPIを使用するため、提供元を確認した正規EX4でDLLの使用が許可された環境が必要です。

セット全体で使う場合は、MT4のデータフォルダーから上位のTerminalへ進み、Common/Files/koma_license.txtを作成します。内容はキー全文だけにしてください。キー入力欄のあるインジケーターはLicenseKeyを空にします。補助インジケーターも同じファイルを参照します。

karrows6はKMACD2とKoma_NagiRSIを内部参照します。karrows6のLicenseKey欄だけに入力しても、すべての補助が認証されるわけではありません。複数のMT4で同じ共有ファイルを利用する場合も、各端末の口座番号とキーの対応を確認してください。

3. 180日と更新の扱い

利用期限はSHOPが発行したキー内の署名付き日時で判定します。インストール日から180日を数え直す仕組みではありません。発行側の180日設定に従い、更新後は新しいキーに差し替えます。購入日と発行日の起点の扱いは、正式な販売案内で確認してください。

03 基本的な使い方

方向・タイミングを分けて確認する

keltnerKN3c_004で計算時間足とトレンド表示を確認し、Koma_NagiRSIで選んだ時間足の状態を確認します。karrows6やKstarV4の表示は補助情報として読みます。色や矢印だけで注文が自動実行されることはありません。

最初に確認する設定

項目	確認すること
KN3cのTimeFrame	既定はM30。M1計算を意図する場合はM1を指定。
凪RSIのTimeFrame	0は現在足。上位足を選んだときは、その足の形成状態も確認。
KstarV4のTimeFrame	現在足か上位足かを確認。必要な履歴が揃うまで待つ。
karrows6の補助	KMACD2・Koma_NagiRSIを同じIndicators直下に保持。

karrows6の内部計算はKoma_NagiRSIを現在のチャート時間足で参照します。別ウィンドウに表示した凪RSIのMTF設定は、karrows6へ自動連動しません。旧Laguerreファイルは同梱・参照しません。

表示の変化について

KstarV4は中心化TMAを使うため、過去の星や値が変わることがあります。ZigZagも頂点が更新され得ます。凪RSI・KN3cの上位足設定では、上位足が形成中かどうかにも注意してください。セット全体を「完全非リペイント」とは扱いません。

通知を使う場合

karrows6と凪RSIは、alertsOnが通知全体、alertsMessageがポップアップ、alertsNotifyがプッシュ、alertsEmailがメールです。プッシュ・メールにはMT4側の送信設定も必要です。Kstarの表示変化と確定通知の意味を混同しないでください。

04 困ったとき

表示されないときの確認順

症状	確認・対処
キー未設定・形式不正	共有ファイル名・保存場所・キー全文を確認。コピー欠けを修正。
別口座用と表示	MT4のログイン口座と登録口座を照合。正しいキーを使用。
別商品用と表示	基本セット用かSMC統合セット用か確認。
期限切れ	更新手続き後、新キーへ差し替える。
DLL・初期化エラー	正規EX4の出所とDLL利用条件を確認。認証回避は行わない。
線や矢印が出ない	対象MT4・ファイル名・補助ファイル・価格履歴・時間足を確認。

導入後のチェック

口座と認証期限、計算時間足、再起動・時間足切替後の表示を確認します。共有キーを更新したあとに表示が復帰しない場合は、対象インジケーターを再適用してください。

問い合わせ時に伝える情報

商品名、ファイル版、MT4のビルド、銘柄、チャート時間足、各TimeFrame設定、エラーメッセージの種類を記録してください。ライセンスキー全文、口座パスワード、個人情報は公開しないでください。

この版の状態

2026-10-29 販売開始前確認版。基本ロジックは礎r4候補を継承しています。認証の試験範囲と合否、実MTF・描画・負荷等の未確認事項は運営向け記録で管理します。この資料は商品紹介の公開と販売開始を分けて管理する版です。